

アンケート
ご協力の
お願い

大学・研究機関におけるハラスメント被害と 研究キャリア形成への影響調査

調査へのご協力をお願いします。

01 調査の目的



本調査は、ハラスメントの被害が、研究職のキャリア形成にどのような影響を及ぼしているかを明らかにすることを目的としています。

ハラスメント被害による損害は、精神的苦痛だけにとどまりません。学位取得の遅延、研究機会の喪失、休学・休職、退職、雇止めなど、経済的不利益を生じさせます。しかし、キャリア上の損害は、十分に把握・評価されていません。本調査では、被害を経験した方々の回答を集計し、ハラスメントに伴って生じる研究キャリア上の不利益の実態を可視化します。

【調査結果の用途】

・大学・研究機関の環境改善、被害者救済のあり方を検討するための資料

調査結果は、損害評価、研究環境の改善、被害者救済のあり方を検討する資料として活用し、個人や所属機関が特定されない形で、文部科学省等の関係機関に提出する場合があります。また、裁判資料、調査報告書、要望書、ウェブサイト等において、個人が特定されない形で公表・利用する可能性があります。

・九州大学工学部セクハラ訴訟の被害女性の損害を立証する資料

現在係属中の九州大学工学部におけるセクシュアルハラスメントをめぐる訴訟では、原告女性が訴えるハラスメント被害による研究キャリアへの損害が争点の一つとなっています。本調査の結果は、原告の損害を検討するための参考資料として、福岡地方裁判所に提出する可能性があります。

02 ご回答いただきたい方



過去または現在に、大学・研究機関で研究キャリアの形成途上にあり、ハラスメントを経験された方（所属先によるハラスメント認定の有無は問いません）。

03 注意事項と配慮

- ・回答しないことや途中で中断することによる不利益はありません。
- ・回答者を直接特定する情報は収集しません。
- ・自由記述は、個人や所属機関が推測されないよう削除、要約または引用する場合があります。
- ・回答データは適切に管理し、本調査の目的以外には使用しません。

04 アンケートの入力



- ・アンケートは Web 上の Google フォームにて行います。
- ・パソコンまたはスマートフォンからご回答いただけます。
- ・所要時間：約 5 ～ 10 分
- ・URL： <https://forms.gle/fCttLyFN37i9f61E7>
- ・第 1 次回答期限：2026 年 9 月 30 日（水）
回答状況により、期間を延長する場合があります。

- 実施主体：ACUWA 権利と連帯のための女性研究者ユニオン
- お問い合わせ：acuwablujay@gmail.com
- SNS(Xアカウント)：@acuwablujay